



## 2019年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月7日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東  
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377  
 定時株主総会開催予定日 2019年9月26日 配当支払開始予定日 2019年9月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年9月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期の連結業績（2018年7月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	21,451	1.2	4,462	29.8	4,484	30.0	2,709	14.0
2018年6月期	21,201	—	3,437	—	3,450	—	2,375	—

(注) 包括利益 2019年6月期 2,692百万円 (12.9%) 2018年6月期 2,385百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	402.61	400.71	17.4	17.2	20.8
2018年6月期	330.81	329.64	14.6	16.2	16.2

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	29,793	14,037	46.8	2,255.99
2018年6月期	22,382	17,334	77.2	2,404.98

(参考) 自己資本 2019年6月期 13,945百万円 2018年6月期 17,271百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	△2,465	△748	1,889	1,748
2018年6月期	3,053	△458	△743	3,068

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00	718	30.2	4.1
2019年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00	432	16.0	2.8
2020年6月期 (予想)	—	0.00	—	70.00	70.00		22.3	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	△5.4	3,320	△25.6	3,220	△28.2	1,940	△28.4	288.28

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2019年6月期	7,265,212株	2018年6月期	7,265,212株
2019年6月期	1,083,605株	2018年6月期	83,569株
2019年6月期	7,265,212株	2018年6月期	7,265,212株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年6月期の個別業績（2018年7月1日～2019年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	21,163	0.6	4,314	31.2	4,312	29.9	2,573	13.1
2018年6月期	21,046	42.8	3,288	277.0	3,319	254.0	2,274	354.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期	382.46	380.66
2018年6月期	316.80	315.68

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2019年6月期	29,510	13,780	13,780	13,780	46.4	2,214.38	2,214.38	
2018年6月期	22,264	17,206	17,206	17,206	77.0	2,387.03	2,387.03	

(参考) 自己資本 2019年6月期 13,688百万円 2018年6月期 17,142百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
(たな卸資産の固定資産振替) .....	14
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	15
(1) 貸借対照表 .....	15
(2) 損益計算書 .....	17
(3) 株主資本等変動計算書 .....	19
5. その他 .....	21

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結事業年度におけるわが国の経済は、好調な米国経済、企業の積極的な設備投資、円安傾向などを背景に、前半は緩やかな回復傾向が続きましたが、米中貿易摩擦の激化やスマートフォンの販売不振の影響が徐々に顕在化し始め、昨年末から減速感が増してきました。

このような経済環境の中、イリジウムルツボや半導体製造装置メーカー向け温度センサーの受注は顧客の生産調整・出荷調整を受けて軟調な受注状況が続き、有機EL向けや電極向けの貴金属原料・化合物、HD向けルテニウムターゲット及び銀合金ターゲット受注は後半減少したものの概ね堅調に推移しました。また一部貴金属価格の上昇と不足感を背景に顧客による前倒し購入があり、売上高・利益ともに影響を受けました。その結果、当連結事業年度において、売上高21,451百万円（前年同期比1.2%増）、売上総利益6,726百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益4,462百万円（前年同期比29.8%増）、経常利益4,484百万円（前年同期比30.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,709百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①セグメント別の業績

##### [電子]

米国向けの単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、ガラス溶解装置向け白金製品の受注は堅調に推移しましたが、スマートフォンなどのSAWデバイス（必要な周波数信号を取り出すデバイス）に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注は顧客の長期的な生産調整の影響で低調に推移し、売上高3,604百万円（前年同期比32.5%減）、売上総利益1,113百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

##### [薄膜]

HD向けルテニウムターゲットやスマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注は昨年末以降鈍化したものの概ね堅調に推移しました。また、一部貴金属の価格上昇もあって、売上高9,246百万円（前年同期比42.1%増）、売上総利益3,009百万円（前年同期比74.4%増）となりました。

##### [センサー]

半導体製造装置メーカーの出荷調整の影響に加え、海外半導体メーカーからの受注も鈍化しており、売上高2,228百万円（前年同期比8.9%減）、売上総利益613百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

##### [ケミカル]

昨年末から減速感が見られたものの有機EL向け及び電極向けの貴金属原料・化合物の受注が堅調で、触媒の受注も堅調だったことに加え、一部貴金属の価格上昇や不足感からの前倒し受注が加わり、売上高6,223百万円（前年同期比7.2%減）、売上総利益1,959百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

#### ②海外売上

当連結事業年度における海外売上高は11,216百万円（総売上高に占める割合は52.3%となりました。地域別にはアジア向け輸出売上高7,150百万円（海外売上高に占める割合は63.8%）、北米向け輸出売上高2,502百万円（海外売上高に占める割合は22.3%）、欧州向け輸出売上高1,562百万円（海外売上高に占める割合は13.9%）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結事業年度末における資産合計は29,793百万円となり、前事業年度末と比べて7,411百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が1,320百万円減少しましたが、たな卸資産が8,504百万円増加したことによるものです。負債合計は15,756百万円となり、前事業年度末と比べて10,708百万円の増加となりました。これは主に、買掛金が1,864百万円、短期借入金が8,000百万円、未払法人税等が630百万円それぞれ増加したことによるものです。純資産合計は14,037百万円となり、前事業年度末と比べて3,297百万円の減少となりました。これは主に、繰越利益剰余金が1,991百万円増加しましたが、自己株式が5,300百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結事業年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は1,748百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は2,465百万円となりました。

これは主に、税引前当期純利益が4,484百万円あり、売上債権が575百万円減少し、仕入債務が2,006百万円増加しましたが、たな卸資産が8,504百万円増加し、法人税等の支払額が902百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は748百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が667百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は1,889百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が892百万円、自己株式の取得による支出が5,300百万円、配当金の支払額が718百万円ありましたが、短期借入金が8,000百万円増加し、長期借入金による収入が800百万円あったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標

	2018年6月末	2019年6月末
自己資本比率 (%)	77.2	46.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	126.1	69.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.68	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	168.08	—

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式をベースに計算しております。

(注2) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注3) 当連結事業年度のキャッシュ・フロー対有利子負債比率とインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュフローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、後半から半導体・電子部品業界の需要回復が見込まれるものの、米中貿易摩擦の長期化等不透明な要因もあり、銀合金ターゲットは前期に比べ受注が減るものと予想されます。一方、主力のイリジウム製品は海外向け中心に需要の伸びが期待され、前期後半から減少したHD向けルテニウムターゲットの需要も回復が期待されます。

以上により、2020年6月期の業績見通しにつきましては、売上高20,300百万円(前期比5.4%減)、営業利益3,320百万円(前期比25.6%減)、経常利益3,220百万円(前期比28.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,940百万円(前期比28.4%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、前連結事業年度より連結財務諸表を作成しており、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性、ならびにIFRS(国際財務報告基準)に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,068	1,748
受取手形及び売掛金	3,065	2,499
商品及び製品	321	539
仕掛品	977	1,590
原材料及び貯蔵品	5,168	12,841
未収消費税等	855	595
その他	84	86
流動資産合計	13,541	19,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,740	6,013
減価償却累計額	△3,555	△3,719
建物及び構築物(純額)	2,184	2,294
機械装置及び運搬具	7,367	7,410
減価償却累計額	△3,619	△3,766
機械装置及び運搬具(純額)	3,747	3,643
土地	1,612	1,724
リース資産	215	272
減価償却累計額	△190	△206
リース資産(純額)	25	66
建設仮勘定	82	1,193
その他	276	284
減価償却累計額	△231	△237
その他(純額)	45	47
有形固定資産合計	7,697	8,970
無形固定資産		
リース資産	1	0
その他	59	51
無形固定資産合計	60	52
投資その他の資産		
投資有価証券	37	28
繰延税金資産	950	735
貸倒引当金	△2	△1
その他	96	107
投資その他の資産合計	1,082	870
固定資産合計	8,840	9,892
資産合計	22,382	29,793

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464	2,329
リース債務	11	19
未払法人税等	604	1,235
短期借入金	—	8,000
1年内返済予定の長期借入金	780	755
未払金	408	550
賞与引当金	265	267
役員賞与引当金	51	65
設備関係未払金	147	225
その他	106	106
流動負債合計	2,840	13,555
固定負債		
長期借入金	1,285	1,217
リース債務	15	47
退職給付に係る負債	484	504
資産除去債務	16	25
長期未払金	401	401
その他	4	4
固定負債合計	2,206	2,201
負債合計	5,047	15,756
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	6,656	8,647
自己株式	△252	△5,552
株主資本合計	17,263	13,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	3
為替換算調整勘定	△4	△12
その他の包括利益累計額合計	7	△9
新株予約権	63	92
純資産合計	17,334	14,037
負債純資産合計	22,382	29,793

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	21,201	21,451
売上原価	15,627	14,724
売上総利益	5,573	6,726
販売費及び一般管理費	2,136	2,264
営業利益	3,437	4,462
営業外収益		
為替差益	15	13
助成金収入	36	33
その他	1	11
営業外収益合計	53	58
営業外費用		
支払利息	18	24
投資有価証券評価損	8	4
その他	12	6
営業外費用合計	40	35
経常利益	3,450	4,484
特別利益		
受取保険金	6	—
特別利益合計	6	—
税金等調整前当期純利益	3,456	4,484
法人税、住民税及び事業税	759	1,561
法人税等調整額	321	214
法人税等合計	1,081	1,775
当期純利益	2,375	2,709
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,375	2,709

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
当期純利益	2,375	2,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△9
為替換算調整勘定	△1	△7
その他の包括利益合計	9	△17
包括利益	2,385	2,692
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,385	2,692
非支配株主に係る包括利益	—	—



(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,445	5,414	4,641	△258	15,242
当期変動額					
剰余金の配当			△358		△358
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,375		2,375
自己株式の取得					
自己株式の処分			△1	6	4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計			2,015	6	2,021
当期末残高	5,445	5,414	6,656	△252	17,263

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	2	△3	△1	52	15,293
当期変動額					
剰余金の配当					△358
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,375
自己株式の取得					
自己株式の処分					4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	10	△1	9	10	20
当期変動額合計	10	△1	9	10	2,041
当期末残高	12	△4	7	63	17,334

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,445	5,414	6,656	△252	17,263
当期変動額					
剰余金の配当			△718		△718
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,709		2,709
自己株式の取得				△5,300	△5,300
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,991	△5,300	△3,308
当期末残高	5,445	5,414	8,647	△5,552	13,954

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	12	△4	7	63	17,334
当期変動額					
剰余金の配当					△718
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,709
自己株式の取得					△5,300
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△9	△7	△17	28	11
当期変動額合計	△9	△7	△17	28	△3,297
当期末残高	3	△12	△9	92	14,037

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,456	4,484
減価償却費	425	429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	18	24
為替差損益(△は益)	△15	△13
売上債権の増減額(△は増加)	△241	575
たな卸資産の増減額(△は増加)	399	△8,504
仕入債務の増減額(△は減少)	67	2,006
その他	△542	△575
小計	3,567	△1,571
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△18	△24
法人税等の支払額	△532	△902
補助金の受取額	36	33
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,053</b>	<b>△2,465</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△455	△667
その他	△2	△80
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△458</b>	<b>△748</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300	8,000
長期借入れによる収入	900	800
長期借入金の返済による支出	△985	△892
自己株式の取得による支出	—	△5,300
配当金の支払額	△358	△718
その他	0	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△743</b>	<b>1,889</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	4
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>1,851</b>	<b>△1,320</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,217	3,068
現金及び現金同等物の期末残高	3,068	1,748

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当連結累計期間において自己株式が5,300百万円増加し、当連結会計期間末において自己株式が5,552百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、工業用貴金属製品の製造販売を中心に事業展開しております。

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「電子」、「薄膜」、「センサー」及び「ケミカル」の四つを報告セグメントとしております。

「電子」は電子製品の製造過程に用いられる電子部品の製造販売を、「薄膜」は薄膜形成に使用される貴金属ターゲットの製造販売を、「センサー」は主に半導体製造装置に用いられる温度センサーの製造販売を、「ケミカル」は貴金属化合物の製造販売及び貴金属の回収・精製等をそれぞれ行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,342	6,504	2,446	6,706	21,000	200	21,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,342	6,504	2,446	6,706	21,000	200	21,201
セグメント利益	1,261	1,725	756	1,748	5,491	82	5,573

(注1)。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2)．セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(注3)．資産の額につきましては、報告セグメントに跨って同一の製造工程を用いる場合があるため、投資の意思決定上においても区分しておらず、各報告セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,604	9,246	2,228	6,223	21,302	148	21,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,604	9,246	2,228	6,223	21,302	148	21,451
セグメント利益	1,113	3,009	613	1,959	6,695	31	6,726

(注1)。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2)。セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(注3)。資産の額につきましては、報告セグメントに跨って同一の製造工程を用いる場合があるため、投資の意思決定上においても区分しておらず、各報告セグメントに配分しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

地域	日本	アジア (日本以外)	北米	欧州	合計
外部顧客への売上高	11,350	5,605	2,365	1,879	21,201

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

6. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

地域	日本	アジア (日本以外)	北米	欧州	合計
外部顧客への 売上高	10,234	7,150	2,502	1,562	21,451

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

6. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	2,404.98円	2,255.99円
1株当たり当期純利益金額	330.81円	402.61円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	329.64円	400.71円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	17,334	14,037
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	63	92
(うち新株予約権(百万円))	(63)	(92)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	17,271	13,945
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	7,181	6,181

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	2,375	2,709
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	2,375	2,709
期中平均株式数(千株)	7,265	7,265
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	25	31
(うち新株予約権(千株))	(25)	(31)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(たな卸資産の固定資産振替)

当社は、従来より固定資産に計上している貴金属加工品に関連し、加工工程内に残存する貴金属地金の管理が可能となる生産管理システムを試験的に運用してまいりましたが、第1四半期において工程内地金の正確な重量管理が可能となったものと判断し、固定資産への振替を行いました。

これにより、「仕掛品」が938百万円減少し、「建設仮勘定」が938百万円増加しております。



4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当事業年度 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,798	1,347
受取手形	503	130
売掛金	2,666	2,472
商品及び製品	320	501
仕掛品	977	1,590
原材料及び貯蔵品	5,168	12,841
前払費用	61	77
未収消費税等	855	595
その他	20	15
流動資産合計	13,372	19,571
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,126	2,235
構築物	58	57
機械及び装置	3,746	3,643
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	44	46
土地	1,612	1,724
リース資産	25	66
建設仮勘定	82	1,193
有形固定資産合計	7,696	8,967
無形固定資産		
特許権	0	0
ソフトウェア	11	14
電話加入権	2	2
施設利用権	44	34
商標権	0	0
リース資産	1	0
無形固定資産合計	60	52
投資その他の資産		
投資有価証券	37	28
関係会社株式	59	59
保険積立金	42	48
長期前払費用	2	2
繰延税金資産	949	736
その他	42	42
投資その他の資産合計	1,134	918
固定資産合計	8,892	9,938
資産合計	22,264	29,510

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当事業年度 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	488	2,301
短期借入金	—	8,000
1年内返済予定の長期借入金	780	755
リース債務	11	19
未払金	418	568
未払法人税等	603	1,232
賞与引当金	257	259
役員賞与引当金	51	65
設備関係未払金	147	225
前受金	20	29
その他	82	72
流動負債合計	2,862	13,528
固定負債		
長期借入金	1,285	1,217
リース債務	15	47
長期未払金	401	401
退職給付引当金	474	504
資産除去債務	16	25
その他	4	4
固定負債合計	2,196	2,200
負債合計	5,058	15,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金		
資本準備金	5,414	5,414
資本剰余金合計	5,414	5,414
利益剰余金		
利益準備金	9	9
その他利益剰余金		
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	6,433	8,288
利益剰余金合計	6,522	8,378
自己株式	△252	△5,552
株主資本合計	17,129	13,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	3
評価・換算差額等合計	12	3
新株予約権	63	92
純資産合計	17,206	13,780
負債純資産合計	22,264	29,510

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高		
製品売上高	20,075	20,357
商品売上高	971	806
売上高合計	21,046	21,163
売上原価		
製品売上原価		
製品期首たな卸高	252	320
当期製品製造原価	14,688	13,918
合計	14,941	14,238
製品期末たな卸高	320	501
製品売上原価	14,621	13,737
商品売上原価		
商品期首たな卸高	0	0
当期商品仕入高	924	773
合計	924	773
商品期末たな卸高	0	0
商品売上原価	924	773
売上原価合計	15,546	14,511
売上総利益	5,500	6,652
販売費及び一般管理費	2,212	2,338
営業利益	3,288	4,314
営業外収益		
受取利息	0	0
デリバティブ評価益	—	6
受取配当金	0	0
為替差益	25	—
助成金収入	36	33
その他	8	10
営業外収益合計	71	50
営業外費用		
支払利息	18	24
投資有価証券評価損	8	4
デリバティブ評価損	3	—
為替差損	—	17
その他	9	6
営業外費用合計	40	52
経常利益	3,319	4,312
特別利益		
受取保険金	6	—
特別利益合計	6	—
税引前当期純利益	3,325	4,312
法人税、住民税及び事業税	728	1,525
法人税等調整額	321	212
法人税等合計	1,050	1,738
当期純利益	2,274	2,573

【製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)		当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
I 材料費	※2	11,365	75.8	11,466	74.1
II 労務費		1,704	11.3	1,709	11.1
III 経費		1,930	12.9	2,294	14.8
当期総製造費用		15,000	100.0	15,470	100.0
期首仕掛品たな卸高	※1	666		977	
合計		15,666		16,448	
他勘定振替高		—		938	
期末仕掛品たな卸高		977		1,590	
当期製品製造原価		14,688		13,918	

(注) ※1. 他勘定振替高は当連結事業年度にたな卸資産を固定資産に振替えた金額であります。

(原価計算の方法)

実際原価による個別原価計算を採用しております。

(注) ※2. 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
外注加工費 (百万円)	232	473
減価償却費 (百万円)	382	417
工場消耗品費 (百万円)	505	495
水道光熱費 (百万円)	181	187

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	5,445	5,414	5,414	9	80	4,518	4,608	△258	15,209
当期変動額									
剰余金の配当						△358	△358		△358
当期純利益						2,274	2,274		2,274
自己株式の取得									
自己株式の処分						△1	△1	6	4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,914	1,914	6	1,920
当期末残高	5,445	5,414	5,414	9	80	6,433	6,522	△252	17,129

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	2	2	52	15,264
当期変動額				
剰余金の配当				△358
当期純利益				2,274
自己株式の取得				
自己株式の処分				4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	10	10	10	21
当期変動額合計	10	10	10	1,941
当期末残高	12	12	63	17,206

当事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	5,445	5,414	5,414	9	80	6,433	6,522	△252	17,129
当期変動額									
剰余金の配当						△718	△718		△718
当期純利益						2,573	2,573		2,573
自己株式の取得								△5,300	△5,300
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,855	1,855	△5,300	△3,444
当期末残高	5,445	5,414	5,414	9	80	8,288	8,378	△5,552	13,685

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	12	12	63	17,206
当期変動額				
剰余金の配当				△718
当期純利益				2,573
自己株式の取得				△5,300
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△9	△9	28	18
当期変動額合計	△9	△9	28	△3,425
当期末残高	3	3	92	13,780

5. その他

役員の変動(2019年9月26日付(予定))

・新任取締役候補

取締役 田中 扶 (現 執行役員経営企画部長)

社外取締役 リチャード・スチュワート (現 Sibanye Gold Limited Executive Vice President)

・新任監査役候補

社外監査役 山中 康雄

・退任予定監査役

社外監査役 青木 隆